

令和 8 年 2 月 1 3 日
文部科学省初等中等教育局
参事官（高等学校担当）付

高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン（仮称））骨子 に関するパブリック・コメント（意見公募手続）の結果について

「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン（仮称））骨子」について、令和 7 年 12 月 10 日から令和 7 年 12 月 24 日までの期間、電子政府の総合窓口（e-Gov）の意見提出フォーム・電子メール・郵便を通じて、広く国民の皆様から御意見の募集を行いましたところ、合計 209 件の御意見をいただきました。

今回御意見をお寄せいただきました多くの方々の御協力に厚く御礼申し上げます。

いただいた主な意見の概要及びそれに対する文部科学省の考え方は別紙のとおりです。なお、とりまとめの都合上、内容により適宜集約させていただいております。貴重な御意見をお寄せいただき、厚く御礼申し上げます。

分野	主な意見の概要	文部科学省の考え方
1. グラン ドデザ インの 背景	卒業後の進路はさまざまあることから、「希望する大学等への進学や就職等をし」は「希望する進路を選択し」という書きぶりにとどめたほうがよいのではないか。	「等」としていることで、様々な進路選択があることを表しています。
	「AI に代替されない能力」のうち、いわゆる非認知能力は幼児期からの生活や対人関係での実体験を通してのみ獲得されていくものであることを盛り込むべきではないか。	グランドデザインにおいて、AI に代替されない能力として、例えば、他者と協働する力について記載しており、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越えていくことが重要であることも記載しています。
	産業構造の変化に対応した「経済・社会の発展を支える人材育成」を目標としているが、すべての生徒の個性を伸張し、進路保障を実現する内容を加えるべきではないか。	グランドデザインにおいて、生徒それぞれの多様な個性やニーズ、興味・関心に応じた学びを生かした自己実現を支え、生徒の可能性を広げ能力を伸ばしていくことが重要であり、希望する大学等への進学や就職等をし、生涯を通じて幸福に暮らしていくことができるよう、更なる高校改革を進めていくことについて記載しています。
	多様性を認める学校にすることが最優先課題であり、最初に掲げられるべき視点は＜視点3＞ではないか。	全てが重要な視点であり、お示ししている順番としています。
	互いの人権・多様性を認め合い、より良い社会に変えられる主権者の育成等を包括した教育をめざすことができるよう内容を付加するべきではないか。	グランドデザインにおいて、選挙権年齢や成年年齢の18歳への引下げも踏まえ、自立した主権者としての主体性や社会の一員としての市民性を育むことが重要であることについて記載しています。
	高齢化や人口減少の課題を高校に頼るのではなく、国として教育等に十分な予算措置をすることが第一ではないか。	高校教育の充実に向けて、今後の取組の参考にさせていただきます。
2. 高校改 革の方 向性～ 2040年 に向け た高校 の姿～	<視点1> 「知識の理解の質」は「知識を活用する力」と具体的に記載すべきではないか。	知識及び技能を生きて働くものとして確実に習得することを表しています。
	<視点1> AIに代替されない能力や個性の伸長のためには、相当な能力がある生徒・教職員が必要ではないか。	グランドデザインにおいて、生徒が知識及び技能を生きて働くものとして確実に習得することや、このような教育を進めるに当たって、教師の資質・能力の向上を図ることの重要性について記載しています。

<p><視点1> AIに代替されない能力を育成するために、全校に正規の学校司書を配置し、充実した図書館機能の活用力を基にしたクリティカルな思考を育成するべきではないか。</p>	<p>論理的、批判的に考える力を伸ばすこと等は重要であり、そのために学校図書館や学校司書の活用も有効な手段の一つと考えており、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p><視点1> AIに代替されない能力を育成するために、数学や国語に情報の要素を入れるのではなく、情報に数学や国語の要素を入れた教育を行うべきではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、教科等横断的な視点に立って進める学びについて記載しています。</p>
<p><視点1> AIに代替されない能力の育成とともに、AIを使いこなすためのスキルも強化するべきではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、AIを活用して新たな価値を生み出す素地を身に付けることについて記載しています。</p>
<p><視点1> 「高校までの学びの成果を適切に評価できる大学入試の検討」に関連して、生徒から教師を評価する仕組みも作るべきではないか。</p>	<p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p><視点1>の「AIに代替されない能力や個性の伸長」と<視点2>の「DX・AIに関する関心の向上」は矛盾しているのではないか。</p>	<p>グランドデザインの視点1において、AIを活用して新たな価値を生み出す素地を身に付けることについて記載しています。</p>
<p><視点2> DX・AI等の用語をわかりやすく表現すべきではないか。 DXを「使いこなす」という表現は誤用ではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、「AIを使いこなす」としました。</p>
<p><視点2> 理数系やデジタル人材の育成だけでなく、すべての生徒が希望する学び・進路選択を保障する視点が必要ではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、生徒それぞれの多様な個性やニーズ、興味・関心に応じた学びを生かした自己実現を支え、生徒の可能性を広げ能力を伸ばしていくことが重要であり、希望する大学等への進学や就職等をし、生涯を通じて幸福に暮らしていくことができるよう、更なる高校改革を進めていくことについて記載しています。</p>
<p><視点2> DX・AIを使いこなす情報活用能力を身に付けるためには、十分な機能を備えた機器等の整備が必要ではないか。 小中学校のように、高校においても端末購入の予算を国が負担するべきではないか。</p>	<p>高校教育の充実に向けて、今後の取組の参考にさせていただきます。また、高校の端末の整備については、学科により教育内容が多様で必要な端末のスペックが異なることや、各設置者により整備方法が様々であること等から、その費用負担の在り方も含めて、各設置者が判断した上で進めて</p>

		いくものと考えています。
<視点2> 理系人材の育成に向けて、より幅広い支援とともに、国からの分かりやすいメッセージや情報発信を行うべきではないか。		高校教育の充実に向けて、今後の取組の参考にさせていただきます。
<視点2> 人材が不足する分野への就業を進路指導により促進すべきではないか。 カリキュラムを理系偏重に変更する方策も検討すべきではないか。 各校のカリキュラムから文理選択をなくすような措置が必要ではないか。		高校教育の充実に向けて、今後の取組の参考にさせていただきます。
<視点2> AIを使いこなせる人材の育成にあたっては文系的素養も重要ではないか。		グランドデザインにおいて、文系的素養を身に付けることについても記載しています。
<視点2> AIを教育に取り入れるべきではないのではないかと。AIの法的リスク等に関するリテラシー教育が必要ではないか。		生成AIの利活用に当たっては、そのリスクを踏まえた適切な利活用の実現に向けた参考となるよう別途ガイドラインを策定しています。ガイドラインにおいて情報モラルを含む情報活用能力の育成がより重要だと認識しているとともに、その利活用に当たっては教育活動の目的を達成する上で効果的か否かを基に利活用を判断すべきものと考えています。
<視点2> 「進路選択の見方」について、進学先の大学が立地する地域の企業や自治体が提供するインターン等の機会や、大学内外で形成できる人間関係等を含めて、これからの進路選択の見方として提示すべきではないか。		グランドデザインにおいて、高校卒業後の進路も意識した産業界や大学等における各取組と連動することについて記載しており、今後の取組の参考にさせていただきます。
<視点3> 日本語を母語としない生徒が増加していることを踏まえ、高校入学前に公もしくは公の支援を受けた組織による、日本語指導の仕組みを整えるべきではないか。 日本語指導を必要とする全ての生徒に対して特別の教育課程を確実に実施すべきではないか。		グランドデザインにおいて、日本語指導が必要な生徒に対して、日本語指導のための「特別の教育課程」の制度の活用や、高校における日本語指導の体制整備等を図ることについて記載しています。

<p><視点3> 学校規模は一定規模を確保するという視点ではなく、地域の実情に応じたものとするべきではないか。</p> <p>小規模校での運営等、地域に根ざした高校教育を保障する制度設計が必要ではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、都道府県の実情等に応じた学校配置・規模の適正化を図ることや、小規模校の教育条件の改善について記載しています。</p>
<p><視点3> 遠隔授業の推進は有用な取組である。内容的に充実した遠隔授業の早期確立が極めて重要である。</p>	<p>これまでも遠隔授業の推進に取り組んできたところであり、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p><視点3> 遠隔授業はあくまで補助的役割であり対面が前提であることを確認すべきではないか。</p>	<p>対面指導の重要性を考慮しつつ、リアルとデジタルの良さを組み合わせながら、取組を進めていくことが重要と考えています。</p>
<p><視点3> 遠隔授業の推進が安易な学校統廃合に、また特別支援教育の充実が分離教育の促進につながらないよう、留意点として明記するべきではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、少子化に伴う単なる統廃合を進めるのではなく、各都道府県の実情に応じた創意工夫ある取組を進める必要があることを記載しています。また、グランドデザインにおいて記載している、高等学校における特別支援教育の充実を図ることは、通常の学級に在籍する障害のある生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援を行うための体制整備を進めることであり、これはむしろ、障害のある生徒の高等学校への就学につながるとともに、障害のない生徒と障害のある生徒がともに過ごす環境整備を進めるものであると考えています。</p>
<p><視点3> 「実現するための取組の方向性」には、「知的障害のある生徒の指導に向けた体制整備」の項目を加え、学力検査も調査書の提出も求めない選抜の実施や、多様な生徒の実態に応じた評価等高校入学後の合理的配慮の実施について言及するべきではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、合理的配慮の提供を含め、個々の生徒の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援を行うための特別支援教育の充実を図ることや、高校入試においては、多様な背景を有する生徒の特性や、多様な経験を生かした中学校までの生徒の学びの成果を評価する多面的な入試となるよう、改善が求められることについて記載しています。</p>
<p><視点3> 個々の生徒のニーズに応じた教育課程の柔軟化を進めるために、教職員の定数改善が必要ではないか。</p>	<p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p><視点3> 個々の生徒のニーズに応じた教育課程の柔軟化を行うのであれば、</p>	<p>学校や生徒の実態、課程・学科の特徴の違い等を踏まえた柔軟な教育課程の実現を図ることは重</p>

	各学校に「総合学科」の仕組みを取り入れるべきではないか。	要であり、今後の取組の参考にさせていただきます。
	<視点3> 多様な学習ニーズに応える手段として男女別学を記載してはどうか。	男女別学については、生徒や保護者、地域の方々に対して丁寧に説明しつつ、個々の学校の特色や歴史的背景等を踏まえた上で、設置者において適切に判断されるべきものと考えています。
	<視点3> 予算・人的配置を含め、多様な生徒を受け入れるための制度設計となるよう内容を付加するべきではないか。	グランドデザインにおいて、全国どこにいても多様で質の高い学びを保障し、地方の生徒はもとより誰一人取り残されず、全ての生徒の可能性を最大限引き出すことができるようすることについて記載しています。
	<視点3> どの学校でも多様なカリキュラムを選べる高校の姿を展望していくべきではないか。 多様なカリキュラムが選べるよう、普通科のなかでの学科構成を見直すべきではないか。	グランドデザインにおいて、学校の創意工夫に基づく普通科改革のための取組について記載しています。
	人材育成より、卒業後に就職できる体制の整備や労働条件の改善等が先ではないか。	グランドデザインにおいて、高校卒業後の進路も意識した産業界や大学等における各取組と連動することについて記載しており、今後の取組の参考にさせていただきます。
	高校においては、文章表現能力等の言語能力の育成に力を入れるべきではないか。	グランドデザインにおいて、言語能力の育成について記載しています。
	農林水産業、工業等に従事できる人材が素晴らしいという方向に社会の価値観を変えていくべきではないか。	グランドデザインにおいて、労働人口減少、AI・DXの進展等による産業構造転換に対応するためには、新たな価値創造や、AI・DX等を駆使した生産性向上を実現する産業イノベーション人材の育成が急務であることについて記載しています。
3.	「専門高校を含む公立高校」という表現は標準と標準外を印象づけるような表現で差別的であり、「専門高校を含む」という表現を削除すべきではないか。	グランドデザインにおいて、削除しています。
高校教育の充実に向けた支援	交付金や基金の対象事業の中に、DXハイスクール各校が実施してきた取組を継続可能とするための措置を明確に位置付けるべきではないか。	今後の取組の参考にさせていただきます。
	交付金や基金について、遠隔授業の配信	今後の取組の参考にさせていただきます。

<p>機能を特定の拠点校(センター)に集約し、高度なスタジオ設備等を整備するために活用できることを明記すべきはないか。</p> <p>また、配信センターにおいて、授業配信を主務とする専任教員の配置基準緩和や加配措置を行い、受信側の学校においては、生徒の学習進捗管理や精神的サポートを行う「学習支援員」の人件費等を交付金や基金の支援対象とすべきではないか。</p> <p>加えて、整備後の保守・更新や教員研修も含め、継続運用に耐える支援の仕組みを併せて検討するべきではないか。</p>	
<p>恒久財源の見通しがないまま大規模な基金を設置すると、地域教育に混乱を招くのではないか。</p>	<p>高校教育の質の向上を図るための振興方策の中でも、緊要性のある取組については先行的に実施することが必要と考えています。そのため、高校教育改革を先導する拠点のパイロットケースを創出し、取組・成果を域内の高校に普及するべく、都道府県に基金を造成することとしています。</p>
<p>特定の学校を交付金の対象とするのではなく、施設設備等の充実も含め、弾力的で柔軟な運用をすべきではないか。</p> <p>施設・学習環境の改善(教室・トイレ等の改修を含む)を、特色化・魅力化の基盤整備として位置付け、対象経費として明確化するべきではないか。</p> <p>都道府県内で幅広い学校に波及する配分枠(面的整備枠)を確保するべきではないか。</p>	<p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>「交付金の対象となる取組及び留意点等」に、学校の多様性を安易に損ない多様な学びの機会を奪うような運用にならないよう留意することと追記してはどうか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、多様な学びの確保について記載しています。</p>
<p>「交付金の対象となる取組及び留意点等」に、公教育の役割として「すべての生徒が理解できる」という前提を盛り込むべきではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、多様な背景を有する生徒の様々な学習ニーズに応えるセーフティネットの役割も果たしていることについて記載しています。</p>
<p>「交付金の対象となる取組及び留意点</p>	<p>グランドデザインにおいて、都道府県の実情等</p>

	<p>等」の「学校規模・配置の適正化」については慎重に検討すべきではないか。学校規模は地域の実情に応じたものとするべきではないか。</p> <p>いかなる地域においても教育機会や教育の質を保障する必要があるのではないか。</p>	<p>に応じた学校配置・規模の適正化を図ることや、全国どこにいても多様で質の高い学びを保障し、地方の生徒はもとより誰一人取り残されず、全ての生徒の可能性を最大限引き出すことができるようすることについて記載しています。</p>
	<p>交付金による支援期間を限定せず、補助率も変更せず支援するべきではないか。</p>	<p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
	<p>交付金対象事業の成果の評価にあたっては、就職や進学といった数値化しやすい指標だけでなく、生徒の進路の多様性や学びの質といった教育的価値が適切に評価される仕組みを明示すべきではないか。</p> <p>取組内容に沿った活用が認められなかった場合は交付金を戻すような仕組みにするべきではないか。</p>	<p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
	<p>「高校教育における個人支援の充実」の「支給方法の取扱い」について、手続きの負担を軽減するため、当事者や保護者による記入や申請が必要ない形とするべきである。</p>	<p>グランドデザインにおいて、いわゆる高校無償化については、国民の様々な意見や新たな制度の実施状況等の分析等を踏まえて、3年以内の期間に十分な検証を行った上で、必要な制度の見直しを実施することを記載しています。</p>
	<p>「高校教育における個人支援の充実」について、普通科に対する高校無償化に反対である。</p>	<p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
	<p>高校教育の充実等のために、高校における少人数学級の実現を図るべきではないか。</p>	<p>今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>4. 全般に対して</p>	<p>学校現場や高校生等、当事者の声を反映させるべきではないか。</p>	<p>国の会議における関係団体等の御意見や、本パブリック・コメントでいただいた御意見を踏まえながら、グランドデザインを策定しています。</p>
	<p>多様な学びを支える教職員を確保するには、働き方改革の推進や処遇改善を含めた改革が必要ではないか。</p> <p>そのための交付金の活用および運用をすべきではないか。</p>	<p>昨年成立した給特法等改正法を踏まえ、自治体ごとの働き方改革に関する計画の策定や取組状況の「見える化」、業務の仕分けを行った「学校と教師の業務の3分類」の徹底等、総合的な取組を進めているところです。教師の処遇についても、教職調整額の水準の引上げ等を段階的に進めていま</p>

	す。 また、交付金の在り方について、今後の取組の参考にさせていただきます。
学校司書、スクール・ソーシャルワーカー、スクール・カウンセラー、様々な国籍・文化的背景を有する生徒や保護者との対応に必要な多文化共生コーディネーター等の専門職員や、デジタル系人材を育成するための専門的な知識がある人の配置を促進する必要があるのではないか。	専門人材を活用していくことについて、今後の取組の参考にさせていただきます。
授業は全国共通の映像コンテンツとして標準化し、教員の過重負担等を解消すべきではないか。 生徒はタブレット等で受講し、AIが理解度を解析・フィードバックすることで個別最適化を実現するべきではないか。	対面指導の重要性を考慮しつつ、リアルとデジタルの良さを組み合わせながら、取組を進めていくことが重要と考えています。
方針の策定にあたっては、教員の負担軽減を先行させ、基礎学力の向上を最優先とし、AI社会で求められる能力を再定義し、デジタル教育は限定的かつ研究に基づいて導入すべきではないか。	グランドデザインにおいて、学校における働き方改革、知識及び技能を生きて働くものとして確実に習得すること、AIに代替されない能力やAIを活用して新たな価値を生み出す素地を身に付けること、リアルとデジタルの良さを組み合わせながら取組を進めていくことについて記載しています。
高校入試や大学入試の制度改革について記載すべきではないか。	グランドデザインにおいて、多様な背景を有する生徒の特性や、多様な経験を生かした中学校までの生徒の学びの成果を評価する多面的な入試となるような高校入試の改善や、高校までの学びの成果を適切に評価できる大学入試の検討について記載しています。
地域の産業発展等に取り組む人材育成をめざす視点が必要ではないか。 高校と地域が連携して地域の産業を学ぶ教育課程等について記載すべきではないか。 地域産業に興味や関心を持ってもらうため、公立高校の地域連携コーディネーターを増員すべきではないか。	グランドデザインにおいて、地域産業や社会の課題を解決できる人材等の育成を目指し、産業界や大学等と連携・協働しながら、理論と実践の往還による実践力の習得・向上に資するカリキュラムの実施等に取り組むことについて記載しています。

<p>地域によって教育環境の差が発生している課題に対して、公立高校という教育の場を支援していく取り組みに賛同する。地域を問わずに支援が届くことで、生徒自身と地域の明るい未来を育む能力が向上することが期待できる。</p>	<p>全国どこにおいても多様で質の高い学びを保障し、地方の生徒はもとより誰一人取り残されず、全ての生徒の可能性を最大限引き出すことができるよう、取り組んでまいります。</p>
<p>世界の技術革新をリードするトップ人材を育成するための環境整備と高大産連携の強化を行うべきではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、高校教育の充実に向けた支援や、それ当たって産業界や大学と連携・協働していくことについて記載しており、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>大学進学に偏重した改革にならないように留意するべきではないか。また、生徒一人ひとりが豊かに生きていくための自己実現にむけた学びという視点が欠けているのではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、生徒それぞれの多様な個性やニーズ、興味・関心に応じた学びを生かした自己実現を支え、生徒の可能性を広げ能力を伸ばしていくことが重要であり、希望する大学等への進学や就職等をし、生涯を通じて幸福に暮らしていくことができるよう、更なる高校改革を進めていくことについて記載しています。</p>
<p>高校教育が本来担うべき幅広い能力形成や多様な進路の可能性との関係について丁寧に示す必要があるのではないか。また、多様な生徒たちが抱えている課題や、本源的な好奇心を基底にした教育活動をすべての学校が追求できるような条件整備を進める内容を盛り込むべきではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、生徒それぞれの多様な個性やニーズ、興味・関心に応じた学びを生かした自己実現を支え、生徒の可能性を広げ能力を伸ばしていくことが重要であり、希望する大学等への進学や就職等をし、生涯を通じて幸福に暮らしていくことができるよう、更なる高校改革を進めるために必要な支援について記載しています。</p>
<p>生徒の未来を切り開く力を育むには、教員自身が探究を支える専門性と知的好奇心を持ち、教員自身が探究し続ける姿勢が必要ではないか。</p>	<p>グランドデザインにおいて、取組例として、外部専門人材等との連携・協働により、探究型授業研修を体系的に実施し、教師が探究プロセスを一貫して指導できる力の育成・向上を図ることについて記載しています。</p>
<p>言語能力の育成、情報活用能力の強化、問題発見・解決能力の育成、他者と協働する力の伸長、理系人材不足への対応、地域産業との連携、グローバル人材育成、過疎地域への教育支援、不登校・特別支援への対応、通信制高校の質向上、地域社会と結びついた教育等の多様な観点から、生徒が</p>	<p>グランドデザインにおいて、御指摘の点について記載しています。</p>

希望を持てる高校教育改革を行うべきである。	
第4期教育振興基本計画の重要なコンセプトであるウェルビーイングを盛り込むべきではないか。	グランドデザインにおいて、ウェルビーイングの向上を図ることについて記載しています。
ESD（持続可能な開発のための教育）に言及すべきではないか。	グランドデザインにおいて、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが重要であることについて記載しています。
高校の適正規模（1学年4～8学級）を見直し、一律に適用しない方針を打ち出すべきではないか。	グランドデザインにおいて、都道府県の実情等に応じた学校配置・規模の適正化を図ることについて記載しています。
高校段階で生徒が学ぶ意欲を低下させている現状にあることを分析し、対策を立てるべきではないか。	生徒の「好き」（興味・関心）を育み、「得意」を伸ばし、多様な経験を積めるようにすることで、生徒一人一人の可能性を広げ能力を伸ばしていくことが重要であり、今後の取組の参考にさせていただきます。
高校進学志向の上昇によって公立高校の供給力だけでは担いきれない部分を私立高校が担ってきた歴史的経緯や、希望者全入を保障するセーフティネットとして私立高校が機能している点に留意すべきではないか。	グランドデザインにおいて、都道府県が策定する「高等学校教育改革実行計画」について、各都道府県における私立の果たす役割や実態を踏まえ、都道府県の判断により、私立の取組を記載することが考えられることについて記載しています。
高校も小中学校同様、義務教育とすべきではないか。	高校の義務教育化に関する論点として、例えば、 <ul style="list-style-type: none"> ・高校へ進学しない層が一定数存在していること ・高校は課程や学科の別があり、学習内容が一律ではなく、生徒の進路選択が多様であること ・高校入学者選抜の位置付けの検討が必要であること 等が挙げられます。
留学生の派遣と受け入れを推進するべきではないか。	グランドデザインにおいて、留学生の派遣や受け入れを促進することについて記載しています。

※なお、上記の御意見の他に、高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン（仮称））骨子に直接関係のない御意見を13件いただきました。貴重な御意見をお寄せいただきありがとうございました。